



湖国の感動 未来へつなぐ

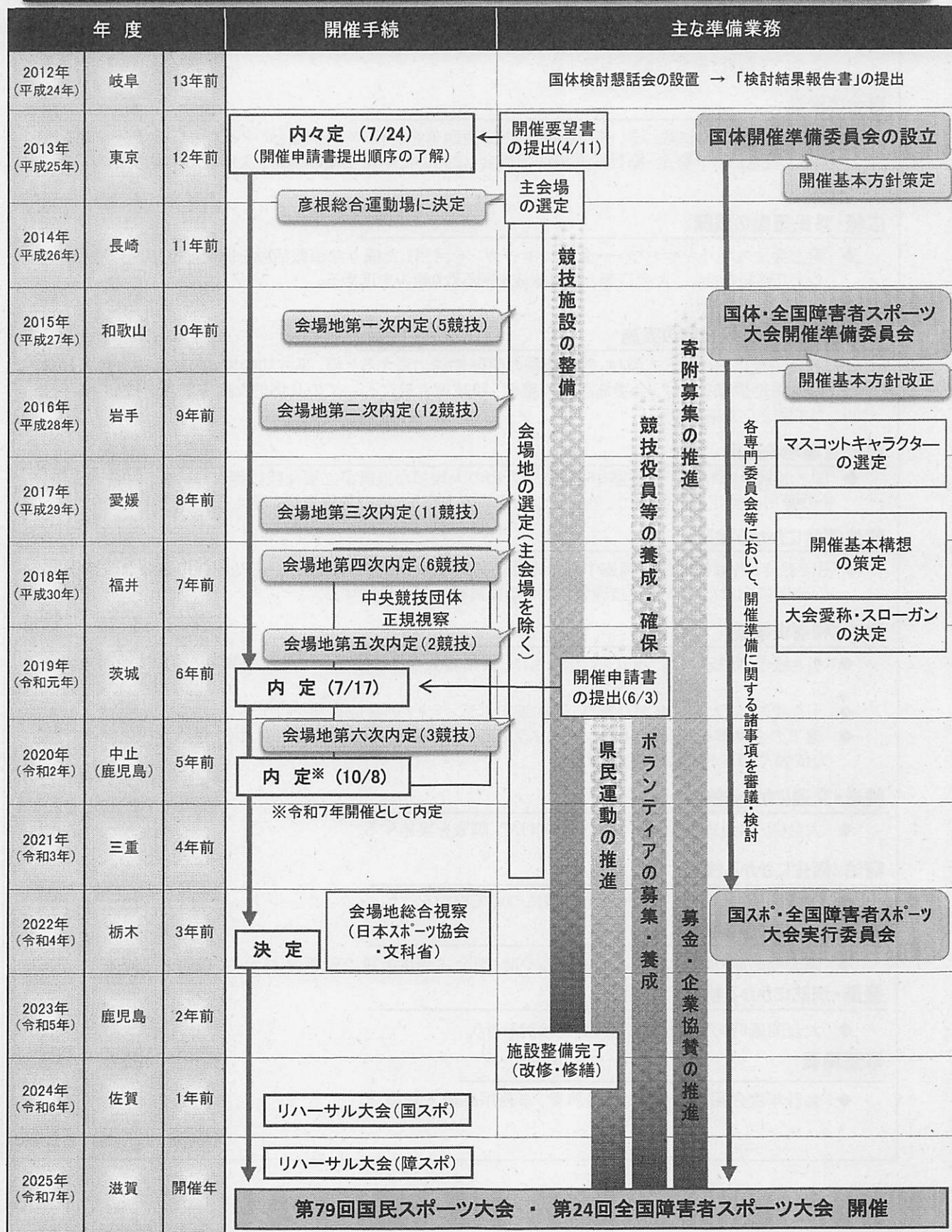
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



教育・文化スポーツ常任委員会資料9
令和3年(2021年)3月10日
文化スポーツ部 国スポ・障スポ大会課
スポーツ課 文化芸術振興課

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の準備状況について

1 開催準備スケジュール(概要)



2 開催準備にかかる令和3年度の主な取組

開催準備委員会

負担金 73,744千円 (R2 74,500千円)

開催準備委員会の運営

- ◆ 総会（1回）、常任委員会（2回）、専門・特別委員会（各1～3回）の開催

若い世代の意見を反映

- ◆ 小学生から大学生世代が委員の「子ども・若者参画特別委員会」において、開催準備やスポーツ振興等について調査・提言活動を実施する。

募金の推進

- ◆ 「募金推進計画」に基づき、募金を推進する(街頭募金、イベント・大会とのタイアップ、企業への寄附依頼等)とともに、「募金・協賛推進特別委員会」において年度実績の確認、次年度の実施計画を検討する。

広報・県民運動の展開

- ◆ 両大会マスコットキャラクター・愛称・スローガンを活用した様々な広報活動を展開するとともに各種イベントで啓発を行い、大会広報と機運醸成を図る取り組みを進める。

中央競技団体正規視察の実施

- ◆ 各会場地における正式競技・特別競技の開催準備に資するため、平成30年度から順次中央競技団体の会場地視察を受け、会場施設等の整備、競技運営等についての具体的な指導助言を得る。R3年度は4競技の実施を予定。

競技会場地の選定

- ◆ 国スポ開催にあたり、競技基準を満たすための大規模な仮設が必要な競技等について、仮設方法やその費用の算定を行うことで、効率的な会場設営を行うための基礎資料を整える。

競技運営にかかる検討

- ◆ 引き続き、各競技団体が実施する役員養成事業に対する補助を行うとともに、開催に必要な競技用具の確保に向けた計画や競技運営にかかる役員編成等を検討する。

障スポ特有の準備

- ◆ 引き続き、競技役員の養成を行うとともに、資格審査など競技運営に必要な準備について検討を始める。
- ◆ 引き続き、両大会に必要な手話・要約筆記ボランティアの養成事業を行う。
- ◆ 選手の介助等を行う選手団サポートボランティアの確保に向けて、県内の大学・専門学校に向けて、協力依頼や障スポ大会の視察を行う。

輸送・交通にかかる検討

- ◆ 大会開・閉会式の輸送計画策定に向けて、調査を実施する。

宿泊・衛生にかかる検討

- ◆ 大会開催に向けて、宿泊・衛生業務について検討を行う。

式典・会場にかかる検討

- ◆ 両大会の開・閉会式などの式典内容や開・閉会式会場仮設施設整備について検討を行う。

警備・消防にかかる検討

- ◆ 大会開催時の警備・消防について検討を行う。

事務局費

- ◆ 会計年度任用職員経費、職員旅費、事務用品購入費等

市町競技施設整備費補助 R3 101,190千円(R2 202,200千円)

- ◆競技会場となる市町立施設の整備に要する経費に対する補助を実施。

(仮称)彦根総合運動公園整備事業 R3 269,101千円(R2 849,021千円)

- ◆主会場として(仮称)彦根総合運動公園を整備するため、引き続き事業用地の取得を行う。

課直執行事務費 R3 1,639千円(R2 1,104千円)

- ◆需用費(点検費、ガソリン代等)、使用料および賃借料(ETC代)等。

その他(教育委員会で計上)

安曇川高等学校ウェイトリフティング場整備事業 R3 80,990千円(R2 12,094千円)

- ◆大会開催時のウォーミングアップ場となるウェイトリフティング場を整備する。

3 競技会場地の内定状況

第79回国民スポーツ大会 正式競技 競技会場地の内定状況

○内定済み(第一次～第六次)

… 36競技(正式競技35、特別競技1)

○内定(第七次内定)(令和3年3月22日予定)

… 1競技(水泳(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング))

○変更手続き(令和3年3月22日予定)

… 1競技(サッカー)

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
	開・閉会式		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場	
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場	全種別
2	水泳	競泳	⑦R3.3.22	草津市		(仮称)草津市立プール	全種別
		オープンウォータースイミング	⑤R元.5.17	長浜市		長浜市南浜町地先特設会場	全種別
3	サッカー		②H28.8.3 R3.3.22変更予定	東近江市		東近江市総合運動公園布引陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド	成年男子
				大津市		皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド	少年女子
				甲賀市	大津市 甲賀市	水口スポーツの森陸上競技場	少年女子
				守山市		野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	少年男子
4	テニス		②H28.8.3	大津市		大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別
5	ボート		②H28.8.3	大津市		滋賀県立琵琶湖漕艇場	全種別
6	ホッケー		③H29.7.31	米原市		OSPホッケースタジアム (県立伊吹運動場) 米原市伊吹第1グラウンド	全種別
7	ボクシング		④H30.5.21	東近江市		東近江市能登川アリーナ	全種別
8	バレー ボール	6人制	②H28.8.3	草津市		草津市立総合体育館 YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)	成年男子 成年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館	少年男子
				守山市		守山市民体育館	少年女子
		ビーチバレーボール		⑤R元.5.17	長浜市		長浜市南浜町地先特設会場

No	競技名		第79回国スポ 会場地			
			固定時期	市町名		種別
				所在地	準備運営	
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市	滋賀アリーナ	全種別
		新体操	②H28.8.3	大津市	滋賀アリーナ	少年女子 少年男子
		トランポリン	⑥R2.6.1	大津市	滋賀アリーナ	全種別
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市	滋賀アリーナ	成年男子 少年男子
				野洲市	野洲市総合体育館	成年女子
				草津市	YMITアリーナ (くさつシティアリーナ)	少年女子
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市	栗東市民体育館	全種別
12	セーリング		④H30.5.21	大津市	大津市柳が崎特設セーリング会場	全種別
13	ウエイトリフティング		④H30.5.21	高島市	県立安曇川高等学校体育館	全種別
14	ハンドボール		③H29.7.31 R元.5.17変更	彦根市	(仮称)彦根市新市民体育センター 彦根グリーンアリーナ (彦根総合高等学校体育館)	成年男子 成年女子 少年女子
				近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館 あづちマリエート	少年男子 少年女子
15	自転車	トラック				
		ロード				
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市	長浜市民庭球場	全種別
17	卓球		②H28.8.3	野洲市	野洲市総合体育館	全種別
18	軟式野球		③H29.7.31	近江八幡市	近江八幡市立運動公園野球場	成年男子
				草津市	草津グリーンスタジアム	
				守山市	守山市民球場	
				甲賀市	甲賀市民スタジアム	
				東近江市	ひばり公園湖東スタジアム	
				日野町	大谷公園野球場	
19	相撲		①H27.8.31	長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	全種別
20	馬術					
21	柔道		②H28.8.3	長浜市	長浜伊香ツインアリーナ	全種別
22	ソフトボール		②H28.8.3 R2.6.1変更	東近江市	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	成年男子
				高島市	今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド	成年女子
				草津市	野村公園グラウンド	少年男子
				守山市	守山市民運動公園ソフトボール場 守山市民球場	少年女子

No	競技名		第79回国スポ 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
23	フェンシング		③H29.7.31	大津市		ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
25	弓道		③H29.7.31	彦根市		(仮称)彦根市新市民体育センター	全種別
26	ライフル 射撃	センター・ファイア・ピストル	④H30.5.21	大津市		滋賀県警察学校射撃場	全種別
		センター・ファイア・ピストル以外					
27	剣道		①H27.8.31	湖南市		湖南市総合体育館	全種別
28	スポーツ ツクリ ミング	リード ボルダリング	③H29.7.31	竜王町		竜王町総合運動公園	全種別
29	ラグビーフットボール		⑥R2.6.1	野洲市	滋賀県	滋賀県希望が丘文化公園	全種別
30	カヌー	スプリント	③H29.7.31	東近江市		東近江市能登川水車とカヌーランド	全種別
		スラローム ワイルドウォーター	④H30.5.21	大津市		瀬田川特設カヌー会場	全種別
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町		愛荘町スポーツセンター 秦荘グラウンド	全種別
32	空手道		②H28.8.3	大津市		ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	全種別
33	銃剣道		③H29.7.31	高島市		新旭体育館	全種別
34	なぎなた		③H29.7.31	彦根市		パナソニック株式会社アプライアンス社彦根 工場多目的ホール	全種別
35	ボウリング		⑥R2.6.1	彦根市	滋賀県 彦根市 豊郷町 甲良町 多賀町	ラピュタボウル彦根	全種別
36	ゴルフ		③H29.7.31	栗東市		琵琶湖カントリー倶楽部	成年男子
				甲賀市		ベアズバウ ジャパン カントリークラブ	少年男子
				東近江市		名神八日市カントリー倶楽部	女子
37	トライアスロン		④H30.5.21	近江八幡市		近江八幡市特設トライアスロン会場	全種別
38	高等 学校 野球	硬式	①H27.8.31	大津市		皇子山総合運動公園野球場	—
		軟式	③H29.7.31	甲賀市		甲賀市民スタジアム	—
				高島市		今津スタジアム	

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第24回全国障害者スポーツ大会 正式競技 会場の内定状況

○第一次内定 …… 12競技
(令和元年5月17日)
○第二次内定 …… 1競技
(令和2年7月1日)
○第三次内定(案) …… 1競技

No	競技名等	第24回障スポ 会場地				
		内定時期	市町名		施設名	障害区分
			所在地	準備運営		
1	開閉会式、陸上競技	①R元.5.17	彦根市	滋賀県彦根市	(仮称)金亀公園陸上競技場	身・知
2	水泳	③R3.3.22予定	草津市	滋賀県草津市	(仮称)草津市立プール	身・知
3	アーチェリー	①R元.5.17	愛荘町	滋賀県愛荘町	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	身
4	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	①R元.5.17	野洲市	滋賀県野洲市	野洲市総合体育館	身・知・精
5	フライングディスク	①R元.5.17	甲賀市	滋賀県甲賀市	甲賀市水口スポーツの森	身・知
6	ボウリング	②R2.7.1	彦根市	滋賀県彦根市 豊郷町 甲良町 多賀町	ラピュタボウル彦根	知
7	ポッチャ	①R元.5.17	甲賀市	滋賀県甲賀市	甲賀市水口体育館	身
8	バスケットボール	①R元.5.17	大津市	滋賀県大津市	滋賀アリーナ	知
9	車いすバスケットボール	①R元.5.17	大津市	滋賀県大津市	滋賀アリーナ	身
10	ソフトボール	①R元.5.17 R3.3.22変更予定	高島市	滋賀県高島市	今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド	知
11	グランドソフトボール	①R元.5.17	東近江市	滋賀県東近江市	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	身
12	バレーボール	①R元.5.17	近江八幡市	滋賀県近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	身
		①R元.5.17	湖南市	滋賀県湖南市	湖南市総合体育館	知
		①R元.5.17	草津市	滋賀県草津市	草津市立総合体育館	精
13	サッカー	①R元.5.17	守山市	滋賀県守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	知
14	フットベースボール	①R元.5.17	長浜市	滋賀県長浜市	長浜バイオ大学ドーム (滋賀県立長浜ドーム)	知

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

4 県立スポーツ施設等の整備状況について

県立スポーツ施設については、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会での活用はもとより、本県のスポーツ振興や県民の健康づくりに資するよう整備を進める。

(1) (仮称) 金亀公園

(仮称) 金亀公園は、両大会の主会場はもとより、将来のスポーツ振興やスポーツを通じた健康増進、地域の活性化のための施設として整備を進めており、今後も 令和4年度末の完成を目指し着実に整備に取り組む。

【主な施設概要】

区分	概要
第1種陸上競技場	収容人員:15,000人以上 構造:鉄筋コンクリート造5階建て トラック:400m×9レーン フィールド:107m×71m
第3種陸上競技場	管理棟 トラック:400m×8レーン
庭球場	12面、夜間照明灯設置(両大会後に整備時期を検討)
野球場	(存置)
エントランス広場・緑の広場	休憩所、便所、植栽など
駐車場	約1,100台 (一部両大会後に整備予定)
駐輪場	約380台 (〃)

【整備スケジュール】

項目 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公園敷地の拡張	→						
既存施設解体 (スポーツ会館、プール、庭球場) (土木施設)		建築施設 ←→	土木施設 ←→				
公園等整備 (基盤工事、地盤対策工事)			←→	←→	←→		供
(第3種陸上競技場)						←→	用
(緑の広場、エントランス広場、 交流広場、第1種外構など)						←→	開
(連絡橋)				←→	←→		始
建築施設計画設計 (第1種陸上競技場)	基本設計 ←→	実施設計 ←→					
建築施設工事 (第1種陸上競技場)				←→	←→	←→	

【整備費】

約213億円



(2) 滋賀アリーナ

老朽化が進み、施設が狭隘となっている現体育館（ウカルちゃんアリーナ）を、びわこ文化公園都市内に移設整備し、両大会の競技会場として活用することはもとより、県民のスポーツ・健康づくりの拠点施設とする。

令和2年中に造成工事が完了し、現在、建物工事を進めており、令和4年12月の供用開始を目指し着実に整備に取り組んでいる。

【整備概要】

建物	
メインアリーナ面積	約 2,900 m ² （バスケットボールコート 3 面）
サブアリーナ面積	約 1,300 m ² （バスケットボールコート 1 面）
メインアリーナ観客席	約 5,000 席 （約 2,500 席は 2 階固定席、約 1,600 席は壁収納型可動席、その他仮設席）
サブアリーナ観客席	約 200 席（2 階固定席）
その他諸室（主なもの）	トレーニング室、スポーツ・体力測定室、多目的室、大会議室、小会議室（4 室）、事務室、応接室、医務室、キッズルーム、授乳室、飲食提供施設
その他施設	
多目的広場	約 8,000 m ² （一部人工芝）
駐車場	約 900 台（常設約 500 台、臨時約 400 台）
駐輪場	自転車約 170 台、原付・自動二輪車約 30 台

【整備スケジュール】

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (国スポ)
用地造成関連		造成 工事					
			インフラ工事等				
アリーナの 建設・運営等 (PFI方式)		設計	建設等	★ 供用開始 (R4.12.1)	維持管理・運営 (R4.12~R19.3 14年4ヵ月)		

【整備費】

約 90 億円



(3) 琵琶湖漕艇場

施設の老朽化やコース利用における安全対策などの様々な課題が顕在化していることや、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西および国民スポーツ大会においてボート競技会場として活用することを踏まえ、管理棟・艇庫の改築およびコースの改修を実施し、利用者の利便性・安全性の向上や競技会場としての機能強化を図る。

コース改修については令和2年4月に工事が完了しており、管理棟・艇庫改築についても、3月18日の新施設の供用開始に向け、概ね工事が完了している。

【整備概要】

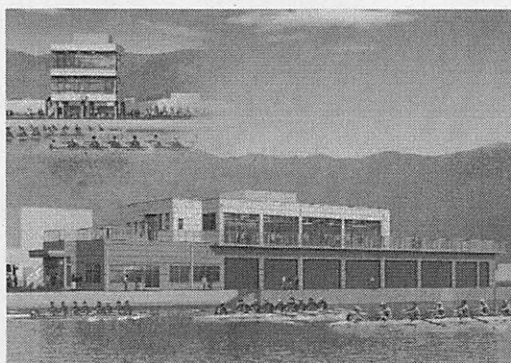
区分	概要
管理棟・艇庫改築	・延床面積 1,259 m² ・トレーニング室の新設 ・会議室兼宿泊室の設置 ・艇庫の拡張 (403 m²→611 m²) ・公園利用者が観覧できるスペースの新設 ・バリアフリー化
コース改修	・安全性向上のための北上移設 (50m) ・波の影響を低減するための消波装置の設置

【整備スケジュール】

項目\年度	H30	R1	R2	R3
基本設計・実施設計	→			
管理棟・艇庫改築工事			→	
コース改修工事		→		
公園復旧工事				→

【整備費】

約10億円



(4) OSPホッケースタジアム

人工芝の老朽化や照明設備の照度不足といった課題が生じていることや、オリンピック事前合宿、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西および国民スポーツ大会においてホッケー競技会場として活用することを踏まえ、人工芝の張替（東京オリンピック仕様）、照明設備の改修、自動散水設備の新設に係る工事を実施しており、令和2年7月にすべて完了した。

※令和2年4月より、大阪シーリング印刷㈱がネーミングライツパートナーとなり、伊吹運動場の愛称を「OSPホッケースタジアム」とした。

【整備概要】 人工芝張替（6,973 m²）、照明設備改修、散水設備改修

【整備スケジュール】

項目\年度	H30	R1	R2
実施設計	→		
照明設備改修工事		→	→
人工芝張替・散水設備改修工事		→	

【整備費】

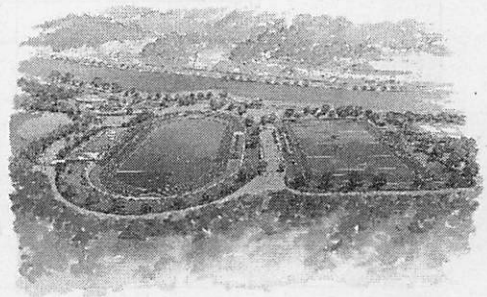
約4億円

(5) 希望が丘文化公園

国民スポーツ大会において、ラグビーフットボール競技会場として活用することから、老朽化が進んでいる球技場・陸上競技場について、それぞれ人工芝への張替、天然芝の改修およびスポーツ会館の老朽化対策などを実施する。

【整備概要】

- ①球技場〔2021年3月22日完了予定〕
 - ・天然芝から人工芝に改修
 - ・散水システムの導入
 - ・ラグビーゴール改修
 - ・観客席設置（陸上競技場側の観客席を含む）
- ②陸上競技場〔2021年12月3日完了予定〕
 - ・天然芝の全面改修
 - ・トラックの全面改修
 - ・ラグビーゴール改修
- ③スポーツ会館〔2022年3月10日完了予定〕
 - ・老朽化対策（外壁・屋根、電気設備等改修）
 - ・バリアフリー対策（階段昇降機、屋外スロープの設置等）
 - ・アメニティの向上（トイレ・更衣室・シャワーの改修等）
- ④3面目グラウンド
 - 天然芝の整備場所を検討



【整備スケジュール】

施設	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
①球技場 (観客席設置含む)	実施設計	工事	供用開始			リハ ーサル 大会	国民ス ポーツ 大会
②陸上競技場			工事	供用開始 (芝生は養生)			
③スポーツ会館 リニューアル	実施設計	工事		供用開始			
④3面目グラウンド	改修内容の精査		実施設計	工事	養生		

【整備費】

約 20 億円

(6) (仮称) 草津市立プール

(仮称)草津市立プールについては、廃止された県立スイミングセンターの代替機能を担うものとして、基本協定書に基づき、県が財政支援を実施している。

【整備概要】

プール施設	プール	50m プール、25m プール、飛込プール
	観客席	約 2,500 席 (仮設席・車いす用席を含む)
	関連諸室等	選手控室、会議室、医務室、器具庫 等
付属施設		飛込ドライランド、トレーニングルーム、スタジオ、キッズスペース 等
管理・共用施設		受付・事務室、応接室、中央監視室、設備室、倉庫、授乳室 等
外構	駐車台数	約 200 台
	駐輪台数	自転車：約 30 台、自動二輪、原付：約 30 台

【今後のスケジュール】

令和 3 年 4 月	事業契約締結
令和 3 年 4 月～令和 6 年 5 月	設計、建設期間
令和 6 年 6 月	供用開始

【整備費】

約 108 億円 (うち、県負担見込額 約 70 億円)

5 国スポ・障スポに向けた競技力向上対策について

滋賀県競技力向上対策本部における競技力向上基本計画・推進計画の改定

I 改定の経緯

- 標記計画では開催年までの間を準備期、充実期、躍進期に区分し、各期の終了後に見直しを行うこととしており、充実期（平成 29 年度～令和 2 年度）が終了する令和 2 年度において基本計画・推進計画の見直しを行う。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により本県における国スポ・障スポの開催年が 2025 年となったことを受け、計画期間の変更に対応して、令和 7 年開催の両大会における目標達成に向けた指針となるよう改定を行う。

〔参考：充実期までの段階的目標達成状況〕

開催年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R 1 年	R 2 年
開催県	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	－
計画での 位置づけ	準備期			充実期			
	20 位台			10 位台			
年次目標	－	20 位台		20 位台前半			10 位台
総合成績	35 位	24 位	33 位	39 位	31 位	30 位	－

II 改定内容

1. 躍進期の始期設定

令和 3 年から 4 年間を「躍進期」とし、必要な取り組みを加速

- 充実期における段階的目標は達成できていないことから、延期により与えられた 1 年間を有効に活用できるよう、令和 3 年以後の 4 年間を「躍進期」と位置付け、この期間において実施すべき方策を早期に明らかにし、効率的・効果的に事業に取り組む。

2. 段階的目標

(1) 第 79 回国民スポーツ大会に向けた段階的目標

本県の得点推移と先催県の平均順位を勘案して修正
延期の影響を受けたターゲットエイジの活躍を期待し、令和 6 年の目標を上方修正

	R3 三重	R4 栃木	R5 鹿児島	R6 佐賀	R7 滋賀	R8 青森
現行	10 位台	10 位以内	8 位以内	5 位以内	1 位	15 位以内
	1200 点	1500 点	1600 点	1800 点	2400 点	1200 点
改定 (点数は参考値)	20 位台前半	10 位台	10 位以内	3 位以内	1 位	15 位以内
	(950 点)	(1,100 点)	(1,400 点)	(1,900 点)	(2,500 点)	(1,200 点)
(参考) 先催 5 県平均	31 位	23 位	22 位	12 位	1 位	14 位
	861 点	952 点	1000 点	1280 点	2409 点	1190 点

(2) 第 24 回全国障害者スポーツ大会に向けた段階的目標

個人競技は、全種目の参加を維持しながら選手を拡充

団体競技は、近畿予選会突破種目数増加を図り、全国大会で活躍できる競技力を養う

		R3 三重	R4 栃木	R5 鹿児島	R6 佐賀	R7 滋賀	R8 青森
現行	合 計	12 種目	13 種目	14 種目	15 種目	23 種目	15 種目
	個人	10	11	11	11	11	11
	団体	2	2	3	4	12	4
改定	合 計	14 種目	15 種目	16 種目	17 種目	24 種目	16 種目
	個人	12	12	12	12	12	12
	団体	2	3	4	5	12	4

3. 新たに盛り込む方策

充実期までの成果と課題を踏まえ、既に方策として記載されている事項は引き続き実施
躍進期の期間中に追加して取り組むべき項目を新たに追加、推進方策を拡充

(1) 選手の育成・強化

① ジュニア選手の発掘・育成・強化

- 滋賀国スポで中心となる年代の選手の重点強化に努め、滋賀国スポに向けた特別強化として、国内外の優秀チームを本県に招聘するなどの取組を支援する。

【推進方策】追 トップレベルチーム強化試合の実施(少年)

- 重点的に強化してきたターゲットエイジ強化選手が 2024 年および 2025 年に県代表として出場するための支援を強化する。

【推進方策】**追** 2024 ターゲットエイジ重点強化

- ・ 新たに指定する 2025 年のターゲットエイジ強化選手と併せ強化事業を展開するとともに、優秀な選手の県外流出の抑止に向け、高校進学に際しての進路指導が円滑に行われるよう、選手が所属する中学校との連携や働きかけを強化

- 上位入賞が期待できる県内の高校所属の競技力の高い選手を指定して支援する。

【推進方策】**追** 高校生トップアスリート支援事業

- ・ 国民体育大会等で8位入賞以上が見込める選手、またはその選手の加入によりチーム成績8位入賞以上が見込める選手を個人指定し、競技活動を支援

② 成年選手の育成・強化・確保

- 上位入賞が期待できる成年選手に対する個人指定強化対策を充実する。

【推進方策】**拡** 選手指定強化対策

- ・ 新たに雇用する選手を中心に、全国トップクラスの実績を有するアスリートについて、国際大会への参加や日本代表選手としての活動など、選手の実績や活動内容に応じた支援を実施

- 自らの競技活動に取り組むとともに、その競技の指導に従事するアスリートの雇用機会を創出する。併せて、国スポ後の県内への定着を図る。

【推進方策】**追** スポーツ特別指導員設置

- ・ 全国大会等で個人4位・団体8位以上もしくは同等の競技成績を収め、第79回大会での入賞が期待できるトップアスリートを（公財）滋賀県スポーツ協会が雇用
- ・ 県スポーツ協会事務局又は指定管理施設に配属、自らの専門競技の強化活動および運動部活動等における県内選手の強化育成に従事

③ 障害者スポーツの普及・選手の拡大

- 2025年の全国障害者スポーツ大会において多くの選手が出場し活躍できるよう、育成・強化スタッフの充実を図るための支援を行う。

【推進方策】**拡** 選手・スタッフ構想の具体化と確保に向けた方策の検討

- ・ 県障害者スポーツ協会「競技力向上委員会」において行う、各競技の実態把握と選手構成やスタッフの確保に向けた計画の検討を支援

(2) 指導体制の充実

① 指導者の確保

- 専門的な競技指導ができる教員の積極的な採用を図る。
 - ・ 県教育委員会「スポーツ特別選考」のさらなる活用

② 指導者の養成・資質の向上

- 高い見識と指導力を持つ優秀な指導者を定期的に招き、選手に対する指導実践や指導者向け講習会等を実施する競技団体に対し支援を行う。

【推進方策】 **③** スーパーアドバイザーコーチ招聘

- 女性指導者養成の取組として研修会を開催するとともに、女性の国スポ監督指導者資格取得が促進されるよう、各競技団体に働きかけを行う。

③ 組織的な競技力向上の推進

- 競技団体が行う、他府県チーム（選手）の情報収集や戦力分析、優秀選手の人材獲得のための視察等に対し支援を行う。

【推進方策】 **④** 強化スタッフ育成

- 国スポ・障スポに向けた競技力向上の取組過程において、組織力が不足している種目を中心に競技団体の組織強化に向けた対応を行う。

（3）拠点の構築と環境の整備

① 強化拠点の構築

- 強化拠点校としての役割を充実させるとともに、2025年後も競技の拠点となるような魅力づくりにつながる支援を継続する。
- 企業・大学・クラブ指定による、成年競技強化拠点に対する支援を継続する。

② 医科学サポートの充実

- 医科学分野での競技力向上をサポートするスタッフをさらに充実させ、強化練習会や大会等に派遣するスタッフが効率的・効果的にサポートに従事できる条件整備を引き続き実施する。

③ 選手・指導者の参加体制の整備

- 強化活動の長期参加に対応できるような教員等の職場環境の整備や、学校に所属する選手が参加しやすくなる条件の整備に向け、関係機関との連携を強化する。

4. 組織の整備

「競技団体会長会議」の設置

- 各競技団体の主体的、自律的な取り組みを促進するため、対策本部内に「競技団体会長会議」を設置、より積極的に目標の共有や士気の向上を図る。